



住み慣れた地域や自宅で豊かに暮らし続けるための  
交流・支え合いの居場所づくり



発行：向こう三軒両隣@くにたち  
発行人代表：新井和雄  
〒186-0002 国立市東 2-27-11  
電話 042-572-9786  
FAX 042-576-4641

## さあ、一緒に！ 10/19(日)寄贈地のお手入れ(草刈り)

東2丁目の寄贈地に市が事業者を公募して設置を計画している小規模多機能型居宅介護事業所と、併設される地域交流スペース。

「住民同士の交流の場に」と寄贈された敷地をみんなで草刈りしませんか？

少しの時間でも構いませんので、お気軽にお立ち寄り下さい。  
谷保から羊のアマエルも草を食べに来てくれます！



親子での参加大歓迎！

「寄贈地のお手入れ(草刈り)」

日時：10月19日(日) 午前10時～午後3時頃

終了後「お疲れさんお茶会」も予定しています。）

場所：国立市東2-24-4（左図参照）

責任者：上記発行人代表と同じ

※雨天決行(荒天の場合は中止します。)



## 懇談会@東2丁目で話し合いました。

9月7日(日)に東福祉館にて第3回の懇談会を開催しました。1回目、2回目からのリピーターもいらして、「一緒にお茶をしながら話をする」という形で、「どんな地域交流スペースにしたいか」について話し合いました。



「住民同士の交流の場に」「絆を育む憩いの場に」という遺贈者の思いについて認識を共有し、「未来を語る場にしたい」「地域へのチャンネルを増やしたい」といった意見が出されました。

次頁につづく



## 人が集まればアイデアも集まる

### 意見交換(概要)

#### (雰囲気・場のつくり方)

- ・未来を語る場にしたい
- ・在宅ケアを実現するための施設のひとつだと思おう
- ・地縁型コミュニティ・スペースにするのか？(ご近所のおよしみで集まる)
- ・テーマ型コミュニティ・スペースにするのか？(テーマを共有する人達が集まる)
- ・テーマがある方が集まりやすい ⇔ 場があれば色々テーマに取り組める

#### (建物内外の具体的な計画要求)

- ・コミュニティ・スペースとしては2室ぐらい欲しい
- ・1人で来ても放っとかれるスペースもあると良い
- ・乳幼児と保護者が利用できるスペースが欲しい
- ・みんなで使えるキッチンが欲しい
- ・ソファがある(ただ座っていても文句を言われない)
- ・表にベンチがある(散歩の途中で休める)

#### (運営方法)

- ・市内の諸活動がバラバラなのはもったいない。一緒にやると良い知恵が生まれるはず。
- ・シニアの雇用も考えたら良いのではないか。
- ・目に見えるメリットを示すことができれば利用料(会費)を出してもらえる。
- ・専門家の強みを市民が取り入れていく必要がある。

#### (地域交流スペースで取り組みたい活動内容)

- ・自分の生活を仲間と共につくっていききたい
- ・地域へのチャンネルを増やしたい
- ・一緒にご飯を食べる(設備が無ければ持ち寄っても良い)
- ・一緒にご飯を作る(一人で食事をするのが淋しい人にこそ、一緒に作る経験をしてほしい)

#### (私にできること)

- ・人と人をつなげる
- ・コーディネート(孤立しがちなシニア世代の男性が仲良くなれるよう)

### 参加者アンケート(概要)

- ・皆、若い時もあり、先は老いていくのだから、上手に解決の目途がつけられたらいいなと思いました。
- ・今回の土地だけでなく、連携できる施設もイメージしながら考えていく必要性を感じました。
- ・一日も早く良い形で実現できるといいですね。
- ・人が集まればアイデアも集まって今後の展開を期待します。
- ・テーマ型も大事な視点で、多くの人が使え施設になってほしいと思います。

メールのあて先はこちらまで [mukou3ken@gmail.com](mailto:mukou3ken@gmail.com)

活動情報はブログをご覧ください <http://mukou3ken.seesaa.net/>